平成19(2007)年能登半島地震に関わる震災・応急対応フロー

(2007.5.1. 作成者：瀬尾和大)

2007年能登半島地震の経験

地震発生 | 数時間後 | 半日後 | 1日後 | 2日後 | 1週間後 | 2週間後 | 1ヶ月後 | 2ヶ月後

行政対応

国レベル

首相官邸の危機管理センター
に官邸対策室を設置→危機管理はマニュアル通り
『住民の安全確保,救助に万全
を期すよう指示』 首相官邸で緊急記者会見.
溝呂木内閣府担当相を現地派遣→激甚災害指定を検討
首相,参院予算委で『政府として全力で対応する』
被災者への支援と被災地の復旧に全力を尽くす.
県選出の議員らが政府の支援を求める.
溝手防衛庁長官,首相『死者が一人でよかった』発言.
激甚災害指定へ向け被害額査定
(早期査定のため国側が協力)
各政党首脳,被災地視察
被害額査定に国が協力 農林水産被害額は24億円→56億円？
政府,輪島の港整備などを
地域再生計画に認定.
陸自が野天風呂設置(3/28,道下)
国交省,復旧効率化へ建設機械
リスト作成など第2次応急対策に.
政府,交付金を前倒し(4/3)
6月配布予定の普通交付税
のうち30%26億円を7市町に.
国交省,復旧効率化へ建設機械
リスト作成など第2次応急対策に.
安倍首相,被災地を視察(4/13)
住民,首相に嘆状訴え.
激甚災害を閣議決定(4/20)
3市3町を局地指定,復旧費231億円
国と県で300億円の基金創設の措置

県レベル

県,自衛隊の派
遣要請(11.09).
県災害対策本部
を設置(12.30).
県,建設業協会に
県,輪島市に
県,輪島市に
県,輪島市